



主 題

- クラ ブ (主 題) “Let's become shining Y's Men!”
「輝くワイズメンになろう！」 奥田 時夫 会長
- 国 際 (主 題) “Be the light of the world”
「世を照らす光となろう」 Philip Mathai (インド)
- ア ジ ア (主 題) “Years bring wisdom”
「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 Oliver Wu (台湾)
- 西日本区 (主 題) “Let Y's men Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」 成瀬 晃三 (名古屋)
- 中 西 部 (主 題) “Let's nurture Y's dynamic spirit!”
「ワイズの活力を育てよう」 江見 淑子 (大阪なかのしま)

聖 句

『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言 (ことば) で生きるものである』
マタイによる福音書 4 章 4 節

白熱教室

岡野 泰和

国際議員として国際議会の議論に参加させていただくようになり、ワイズの全体像が少しずつ見えてくるようになりました。そのひとつがエリア(地域)間のバランスの問題です。先月ホノルルで開催された年央会議の席で、国際協会に集まった EF(エンダウメントファンド)の一部を SDS(特別開発支援金)として各地域に振り分けるための会議がありました。このセッションでは議長はなく 9 地域からの代表各 1 名が同じ立場で議論を進めます。私はアジアの代表としてその議論に加わったのですが、各地域の代表は少しでも多く自地域に資金を獲得しようと議論は最初から白熱しました。EFは「ワイズダム発展のため」にメンバーやクラブから国際協会に寄せられた浄財です。この資金をそれぞれの地域内で有効に活かすために様々なプロジェクトが実施されています。地域はそれぞれ異なる事情やニーズを抱えています。しかし、全体の資金は限られています。まさにテーブルの上の一枚のピザを今から 9 人で食べようとしているわけです。太っている人、子供をたくさん抱えている人、お金をいっぱい稼いでくる人、一生懸命働いてもなかなか儲からない人、年老いた人、食べ盛りの青年、体の具合が悪い人、貯金がいっぱいある人、借金で苦しんでいる人・・・共通しているのはみなお腹が空いていることだけです。ピザを 9 等分すればみんなハッピーでしょうか? イエスなら御業でみんなを満腹にしてくれるでしょうか。私たちはそれぞれみんながハッピーになれるようにうまくピザを切り分けねばなりません。このことは現代世界が抱える大きな問題です。さて、白熱した長い議論の末、我々はみんながハッピーにテーブルを後にすることができました。争えば足りず、分け合えば余るのです。

3 月 例会プログラム

< なかのしまクラブと合同例会 >

日時：2013年 3月13日(火) 18:30~21:00
会場：ホテルグランヴィア大阪
大阪市北区梅田 3-1-1 Tel.06-6344-1235(代)
会費：4,000円

◇ プログラム ◇

司会進行等：なかのしまクラブが主体

ゲストスピーカー：朗読：馬場 精子さん(朗読家)
2012 年文部科学省後援・日本朗読検定協会主催
『第四回青空文庫朗読コンテスト』金賞を受賞され、
益々ご活躍の馬場精子さんをお招きし『葉っぱのフレディ』を音楽と共に美しく情緒豊かな朗読を楽しみます。

* 当クラブの 3 月例会はなかのしまクラブとの合同例会
(注意：開催日時及び開催場所がいつもと違います)

C 班 (生地、岡野、小島、坂本、永井)

3 月の強調テーマ < EF・JWF >

お祝いや記念日には幸せのお裾分け、感謝の気持ちとともに献金をしませんか。エンダウメント基金 (EF) は国際協会へ、西日本区ワイズ基金 (JWF) は西日本区へ、ワイズダム発展のためにご協力をお願いします。 岡野泰和 ファンド事業主任 (大阪土佐堀)

例会報告

水口 美里

2月

役員会報告

岩原 義則

女性新入会員2名が入会

今月は、TOFの月ということで、夕食にはおにぎりが供されました。食事は簡素でしたが、例会の中身は盛り沢山で、出席者は、メン（新入会員を含め）19名、メネット4名、ゲスト6名に加え、特別ご参加いただいた江見中西部長を迎えて総勢30名と大変賑やかな会となりました。

功労会員の今村メンも出席され、聖句・メッセージと食前感謝祈禱をしていただきました。

まず、2名の女性会員の入会式が、江見部長立ち会いのもと、奥田会長の司式で執り行われました。入会されたのは、丹吾礼さんと故只野メンのコメットでY職員の只野未来さんです。若いお二人を迎え、江見部長にも大変喜んでいただき、全員ニコニコの入会式でした。

ゲストスピーチは、NPO法人木野環境の丸谷一耕氏の「環境技術とアジア学院」のお話。丸谷さんのお話は3回目ですが、今回は主にアジア学院についてお話いただき、アジア・アフリカの農業指導者層への有機農業の普及に努めておられる様子をお聴きしました。いろんな国からの留学生がいて、食べ物も牛がダメ、豚がダメ、だし（魚）がダメなどで献立を4種類も作ったり、犬や猫を捕まえて食べる人がいたり、カーズにこだわって掃除をしないインド人がいたり、いろいろご苦労も多いようです。

あと、岩田次期会長から次期役員案が示され、誕生祝いなど定例のプログラムが手際よく行われ、定時に散会となりました。来月は、なかのしまクラブとの合同例会です。



元理事経験者の集い

2月8日～9日に京都東山霊山温泉にて開催された。1997年7月東西両区に分離してワイズの発展を願ったが、会員増強の成果が見られずこうした窮状打破のため、東西両区の理事経験者が集い今後の方向性を語り合った。30名の理事が集まり有意義なときを持った。京都の森田夫妻、岡本夫妻に大変お世話になった。厚く御礼申し上げます。

(灰谷隅夫記)



日時：2013年2月26日（火）18：30～21：00

場所：奥田事務所

出席者：奥田会長、岩田、小島（連絡主事）、小森、工藤、永井、灰谷、牧口、水口

報告事項

1. 2月例会 TOF 例会（メネットによる軽食提供）

[2月19日（火）18：30～21：00 大阪YMCA会館902号]

出席者：メンバー19名、メネット4名、ゲスト6名、

ビジター1名、計30名。出席率：18/18=100.00%、

メキップ0名、担当：B班（岩原、北村、小森、水口）

ココ：13,511円/82,156円トファット：11,700円/62,860円

内容：2名の入会式：入会者 丹吾 礼、只野未来

ゲストスピーカー NPO法人木野環境 丸谷一耕氏

「環境技術とアジア学院」

2. YMCA チャリティーボウリング大会

[2013年2月16日（土）17：45～ 桜橋ボウル5F]

参加予定：岩田、奥田、工藤

3. 東日本大震災復興支援プロジェクト

[2013年2月23日（土）11：00～15：00 いきいきセンター]

支援方法：餅つき クラブ負担：10,000円

参加者：生地、岩田、岩原、岩原（メ）、岩原（コ）、

岡野、奥田、奥田（メ）、小島、北村（メ）、小森、只野、

丹吾、永井、灰谷、水口 クラブ支援金1万円

役割：セイロ蒸→餅つき→磯焼餅、ぜんざい

5. 国際年央会議（MYM）

2月1日～4日までハワイ州ホノルルで開催されたMYMに

岡野国際議員がアジア代表として出席しました。

報告は次ページ参照。

協議事項

1. 3月例会 なかのしまクラブと合同 会費：4,000円

[2013年3月13日（水）18：30～21：00 桜ヶ丘ラビア]

担当：C班（生地、岡野、小島、坂本、永井）

内容：ゲストスピーカー 馬場 精子さん（朗読家）

2012年文部科学省後援・日本朗読検定協会主催『第四回青空文庫朗読コンテスト』金賞を受賞され、益々活躍の馬場精子さんをお招きし『葉っぱのフレディ』を音楽と共に美しく情緒豊かな朗読を楽しみます。同時に、なかのしまクラブさんと交流も深めましょう！

2. 3月第2例会（役員会、ブリテン委員会）

[3月19日（火）18：30～21：00 奥田事務所]

3. 次期会長主査研修会

[3月9日～10日 新大阪チサンホテル]

岩田次期会長、北村京子次期メネット主査、

岡野国際委員、奥田LD委員の4名が出席

4. 4月例会

[4月16日（火）18：30～21：00 大阪YMCA会館902号]

担当：A班（岩田、工藤、牧口）

内容：ゲストスピーカー 日本ビルマ救援センター 中尾恵子さんを予定。民主化へ向かっている、ビルマの最新事情をお聞きます。

5. 次期役員決定

6. 名刺の作成（岩原、牧口、丹吾、只野）写真の提供

7. アジア大会参加者（岡野、奥田、小坂井、小森、灰谷）の確認と申込（2月中が安価）

8. 西日本区大会・名古屋への参加者募る。（6/22～23）

International

国際報告： 年央会議 (MYM)

2月1日より4日まで米国ハワイ・ホノルルにおいて国際協会の年央会議が開催されました。重要な事項についてご報告します。

国際協会の名称変更案について

ワイズメンズクラブの名称に含まれる「メンズ」という言葉が男性中心、性差別的で排他的なイメージを伴うため、特に欧米の英語圏の国々を中心に名称変更の必要性が長年議論されてきました。昨年の国際議会では名称変更案について協議の結果、議員投票では承認されましたが、のちの全クラブによる国際投票では3分の2以上の承認が得られなかったため国際協会名称変更のための憲法改正は承認されませんでした。この結果国際名称は変更されません。この件につきましては賛否両論様々な議論があり、国際投票の結果をうけ年央会議では引き続きワイズメンズクラブのイメージ改革について特別委員会にて議論が継続されることとなりました。

(国際議員 岡野 泰和記)

また、年央会議に先立って次期地域会長の研修会が開催され、全9地域の次期会長が参集しポール・トムセン次期国際会長はじめ国際役員の方々の参席のもと次年度の国際協会の活動、各地域の計画、課題等について充実した研修が持たれました。次期の国際の活動は次期会長の力強いリーダーシップのもとエクステンション(EMC)を強力に推進することになります。アジア地域でもエクステンションを推進します。



Fellowship during
International Council Mid Year Meeting
and U. S. Area Mid Year Cabinet Meeting
Tuesday, February 5, 2013
Willows Restaurant
Honolulu, Hawaii

写真は国際役員と地元ハワイのワイズメンとの交流会にて

<アンニョン KOREA>

岩田 晋

～韓国の石に見る日本～

今は昔、井戸端会議の水神碑

—龍山の寺院址—

「京畿道の片田舎に日本人が建てたと思われる小さな碑がある」という話を水原に住む学生から聞いたのが昨年の1月。時間がある時に行こうと思いつきながらも、韓国でのあわただしいスケジュールに忙殺され、その碑を目にすることもなく1年が過ぎました。今年の1月、一週間ほど韓国を訪ねた機会にスケジュールのやりくりをして、1月13日、思い切つて碑のある村へ足を運ぶことにしました。東ソウルバスターミナルから高速バスで約1時間の終点・利川(イチョン)へ。さらに市内バスに揺られて約50分。バスを降りたのは雪に白く覆われた田園地帯の真っ只中。利川市雪星面竹里。京畿道とは言っても、ここから車で5分も行けば忠清北道。

「碑のある場所は小学校が目印」と聞いていたものの、道を尋ねようにも人の姿が全く見られません。気温は零下10度くらいでしょうか。数日前に降った雪がアイスバーン状態になっているので重心を低くして注意深く歩きます。通りがかった車を停めて道を教えてもらいます。集落をひとつ超えて小学校に着くと田圃の一角に水色の小さな屋根が見えます。その下には円型の井戸。碑は井戸の脇の少し高くなったところにあります。高さ72cm、幅29cmの小さい碑の正面に刻まれた文字は「水神記念碑 大正八年八月八日」。三一独立運動が始まって五ヶ月経った日に建てられた記念碑。「宮崎県」の文字は読めますが、下に続く文字は土に埋もれてわかりません。人名らしき文字がいくつかありますが、磨耗が激しく、読み取れません。(後日、当時の移住者名簿を調べてみましたが、この村に移住した日本人の名前を見つけることは出来ませんでした。)日本人が建てた水神の碑としては、ソウル市内に東洋拓殖会社が建てた碑が一基あり、大正十四年ですから、それよりも六年遡ることになります。

湧き水があったから碑が建てられたのでしょうか、井戸がいつ作られたのかは記録に残っていません。バス停近くで出会った老人の話からいくつかのことがわかりました。この村では日本統治の頃から、この井戸水は村の大切な飲料水でした。途切れることなく湧き出る井戸水の活用を村人が考えた結果、村の洗濯場にしようということになり、村の男衆が総出で共同洗濯場を造ったのが40年ほど前の話。朝食の片付けを終えた女衆が集まった洗濯場はまさに井戸端会議の場となり、賑やかなことこのうえなく、村の男衆は「村の放送局」と皮肉ったと言います。しかし、数年前に上水道が引かれてから、洗濯場の井戸は使われなくなり、さらに近くに水田揚水用の井戸が新しく造られると、共同洗濯場の井戸は水量が極端に減ってしまったと言います。今は静かな共同洗濯場。この村に宮崎県人が住んだのか、そして水神碑が建てられるに至った経緯は何だったのか。またひとつ課題が増えました。

農村の静かな朝、
共同洗濯場跡の裏
手に碑が見える



竹里の水神記念碑

チャリティーボウリング大会

2月16日(土)、桜橋ボウルで土佐堀YMCAチャリティーボウリング大会が開催され、奥田、岩田、工藤、小路、入江の土佐堀クラブチームは参加7チーム中2位(1位はセンテナール)と健闘。クリスマス献金は55,000円集まりました。なお、個人ハイスコアは392(218・174)と30年ぶりの奇跡のスコアで私、工藤がいただきました。感謝。

(工藤義正記)



わいわいまつり ～東日本大震災復興支援プログラム～

2月23日(土)「わいわいまつり」は寒さ厳しい中「いきいきエイジングセンター」で開催されました。土佐堀クラブからの出店はお餅つきで猫の手も借りたいほど忙しく、延べ333のぜんざいと磯辺焼きを完売しました。

(奥田時夫記)



土佐堀YMCAクリスマス献金のお願い

大阪YMCAは、11月から2月までの4カ月間、クリスマス献金を実施します。皆様からいただいたクリスマス献金を用い、国内外のYMCAと協力し、ボランティアとともに様々な支援プログラムを企画・実施・援助する活動を展開しています。私たちの祈りを込めた献金が社会に光を灯し、地域・世界の人々の笑顔につながればと願っています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

土佐堀YMCA運営委員会クリスマス献金実行委員長 奥田時夫

YMCAニュース

■第238回大阪YMCA早天祈祷会

日時： 3月15日(金) 7:30～ 8:30
場所：大阪YMCA会館10Fチャペル
証し：近藤麻衣さん(YMCAスタッフ)

■指導者感謝会

日時： 3月20日(水・祝) 10:00～11:30
場所：大阪YMCA会館(部屋は当日ロビーに掲示)
参加費：無料(ワイズメンズクラブの協力金にて実施)
学校を卒業することでユースリーダーとしての働きに一区切りをつけ、次のステップに向かうリーダーを祝福する会です。土佐堀YMCAに集うワイズメンズクラブの皆様にもぜひ御参加頂きたく御案内申し上げます。

■大阪YMCA会員継続のお願い

別途、皆様に郵送させていただきました「会員登録申込書」にて継続の手続きと併せて、活動の登録を行っていただきます。担当スタッフにお渡しいただくか、FAX・メールなどでも返送いただけますので、大阪YMCA会員活動がより活発で有意義なものとなりますよう、2013年度も皆様のご理解・ご支援を何卒よろしく申し上げます。

▽ 3月の予定

13日(水)なかのしまクラブと合同(18:30～) 行方ラウンジ
19日(火)第二例会・役員会(18:30～) 奥田事務所
19日(火)プリテン委員会(19:30～) 奥田事務所

▽ 4月の予定

16日(火)クラブ例会(18:30～) 土佐堀YMCA902号室
23日(火)第二例会・役員会(18:30～) 奥田事務所
23日(火)プリテン委員会(19:30～) 奥田事務所

▽ 3月のお誕生日

10日 小坂井 義文

▽ 3月の結婚記念日

3日 岩原 義則・千夏

<今月の題字写真> セネッティー 冬に咲き乱れ春まで何度も咲き楽しめる花。星をちりばめたように明るく可憐な花で、色目はたくさんあります。

(撮影・文：奥田会長)

2月例会出席者数		2月例会出席率		B	F	ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	19名	会員例会出席者	19名	切手	0pt	2月分	13,511円	2月分	11,700円
メネット	4名	メーキャップ	0名	現金	0pt			今期累計	62,860円
コメット	0名	合計	19名						
ビジター	1名	現会員数	20名						
ゲスト	6名	出席率対象数	18名						
出席者合計	30名	出席率	100.0%	今期合計	0pt	今期合計	82,156円	残高合計	1,251,844円